令和7年度
第2回江別市廃棄物減量等推進審議会

議 事 録

令和7年8月1日

令和7年度第2回江別市廃棄物減量等推進審議会議事録

日 時	令和7年8月1日（金）13時30分～14時30分
場 所	江別市民会館 2階 21号室
出席委員	浅川雅己会長、金塚貴子委員、北川裕治委員、佐々木雅之委員、佐藤ひとみ委員、名古屋由紀子委員、ファルークソバン委員、吉田勝文委員（8名）
欠席委員	今林隆一郎副会長、伊東孝子委員、井上剛委員、加藤真衣委員、吉田磨委員（5名）
事務局	堂前環境室長兼廃棄物対策課長事務取扱、石川施設管理課長、中村廃棄物対策課主幹（計画推進担当）、坂本庶務係長、佐々木減量推進係長、佐藤減量推進係主査（資源化担当）、小松指導係主任、奥泉減量推進係主事、田村庶務係主事（9名）
傍聴者	1名
会議次第	1. 開会 2. 諮問 江別市一般廃棄物処理基本計画中間見直し 3. 市長挨拶 4. 議事 （1）審議事項 ・江別市一般廃棄物処理基本計画の取組と目標の達成状況について 5. その他 6. 閉会
配布資料	・資料1 江別市一般廃棄物処理基本計画の取組と目標値の達成状況について

▼会議内容

【開会】

○堂前環境室長

皆様、本日はお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

事務局の環境室の堂前と申します。どうぞよろしく願いいたします。

はじめに、本日の審議会についてであります。本日は、今林隆一郎委員、伊東孝子委員、井上剛委員、加藤真衣委員、吉田磨委員が、所用により欠席ということで、事前にご連絡をいただいております。また、生活環境部長の近藤、同じく次長の千葉は他の公務のため、欠席しておりますので、ご報告いたします。

本日は、全委員13名中8名の委員のご出席をいただいておりますこと、過半数を超えておりますことから、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。

次に、本日の資料の確認ですが、次第とあらかじめ送付させていただきました、資料1「江別市一般廃棄物処理基本計画の取組と目標値の達成状況について」、参考資料として、冊子の「江別市一般廃棄物処理基本計画」となっておりますが、お手元にはない方はおられますか。

次に、廃棄物減量等推進審議会の公開につきましてご説明いたします。

市では、審議会等は支障のない限り公開を原則としており、この審議会でも傍聴者を認めております。また、会議の議事概要として、発言内容を発言者の氏名とともに市のホームページ等で公開いたしますので、ご了承いただきたいと思います。

本日は、傍聴希望者が待機しております。傍聴希望者は1名です。入室いただいておりますでしょうか。

それでは、傍聴者の方に入室していただきます。

（傍聴者入室）

○堂前環境室長

それでは、ただいまより、令和7年度第2回江別市廃棄物減量等推進審議会を開会いたします。

はじめに、諮問書の手交を執り行います。

江別市長後藤好人より浅川雅己会長へ諮問書を手交いたしますので、よろしくお願いいたします。

【諮問書手交】

○堂前環境室長

あらためまして、後藤市長より一言ご挨拶申し上げます。

【市長挨拶】

○後藤市長

本日は、お忙しい中、第2回廃棄物減量等推進審議会にお集まりいただき、ありがとうございます。また、皆様には、日頃より当市の「まちづくり」、とりわけ、環境行政にご理解とご協力をいただいていることにお礼申し上げます。

今ほど、貴審議会に一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて、諮問させていただきました。この計画は、一般廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用、適正処理について、長期的・総合的な視点に立って策定するもので、現計画は第4次計画として、当審議会から答申を受け令和3年3月に策定したものです。

近年は、国際的な紛争の影響などにより、食品やエネルギーなど、様々な物価が高騰しているほか、人件費も増加している中、自治体のごみ処理行政を取り巻く環境は、より厳しさを増していくことが予想され、今後におきましても事業のデジタル化を行うなど、一層のごみ処理の効率化を進めていく必要があるものと考えております。

先ほど諮問書の中でも触れましたが、当市においては、インターネットなどの普及に伴い、集団資源回収の古紙が大きく減少したこともあり、ごみの減量化が進み、現計画の発生抑制の目標853gを達成した一方で、資源化の目標30%については、下回っている状況であります。

審議会の皆様には、近年の社会情勢や当市のごみ処理の状況などを踏まえ、当市のごみ処理に関する様々な取り組みについて検証いただく中で、より適切な目標値などについて、忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

○堂前環境室長

市長はこの後、別の公務がありますのでここで退席させていただきます。

これから諮問書の写しを皆様にお配りします。

それでは、以降の議事について、浅川会長をお願いいたします。

○浅川会長

以降の議事について、議長を務めさせていただきます。

それでは議事に移りたいと思います。本日の議題は、江別市一般廃棄物処理基本計画の取組と目標値の達成状況について、となっております。

資料については、内容が多岐にわたるので、いくつか区切ってご説明いただき、その都度みなさまからご意見をいただきたいと思います。

まず、資料1の1ページから3ページ上段の基本方針3の手前までのご説明をお願いいたします。

○中村廃棄物対策課主幹

廃棄物対策課の中村です。

わたくしから、審議事項「一般廃棄物処理基本計画の取組と目標値の達成状況について」ご説明い

たします。

それでは資料1の1ページをご覧ください。

こちらの資料については、これから一般廃棄物処理基本計画の策定をご審議いただくにあたり、まずは、計画に基づく当市のこれまでの取り組みや目標値について理解を深めていただくため、作成したものです。

はじめに1の施策の取組状況についてであります。中間目標年度を令和7年度とする本計画では、「えべつ未来づくりビジョン（第6次江別市総合計画）」に基づき、本計画の基本理念を「協働による環境にやさしいまちづくり」としています。

また、本計画の基本理念の実現に向け、「環境」・「社会」・「経済」の3つの視点に立って、4つの基本方針の下、20の具体的な施策に取り組み、「市民」、「事業者」、「行政」の3者の協働により、ごみの減量化や市民サービスの向上のほか、ごみの適正処理と効率化を進めてきました。

資料の中段、基本方針1の2Rを優先した3Rの推進ですが、ご覧の表は施策と主な取り組みの一覧で、下段の詳細を申し上げますと、施策1の1、食品ロスの削減は、令和4年度に食品ロス削減推進計画を策定しています。

2ページをご覧ください。

フードバンク活動等の研究として、食品ロス削減推進計画に基づき、令和5年度に北翔大学と連携して、フードドライブ活動等の研究を行っています。

次に、施策1の2、プラスチックごみの削減は、令和3年度から廃棄物対策課のXやインスタグラムなどのSNSを活用して、使い捨てプラスチック製品等の削減に向け、マイバッグ、マイボトル、マイカトラリー等の持参運動を啓発しています。

次に、施策1の3、効率的なリユース手法の検討は、令和3年度から民間事業者のジモティーが運用するインターネットサイトを活用して、大型ごみで収集したスキーと学習机を、市民に無料で引き渡すリユース事業を行っています。

次に、施策1の4、集団資源回収の推進は、令和4年度から集団資源回収のカレット、これは繰り返し使えないワンウェイびんのことですが、それを安定的・効率的に資源化するため、リサイクルセンターで受け入れしています。

次に、2ページ中段、基本方針2のきれいなまちづくりの推進ですが、ご覧の表は施策と主な取り組みの一覧で、下段の詳細を申し上げますと、施策2の1、環境教育の推進は、小学生を対象として、料理の食材購入に伴う包装容器等にかかるごみの処理費や減量等をゲーム方式で学ぶほか、海洋プラスチック問題や食品ロスについても学ぶ出前授業を行っています。

3ページをご覧ください。

施策2の2、ごみ出しルールの徹底は、令和4年度から外国人向け分別啓発の研究の中で、英語、中国語の収集日カレンダー作成・配布や本市の公式LINEによりごみ収集日等の情報発信を行っており、令和6年度にはパキスタンの公用語ウルドゥー語の収集日カレンダーを作成しています。

次に、施策2の3、地域等との協働による環境保全是、令和3年度にこれまでの40リットル公共ごみ袋に加え、こまめに清掃活動に使っていただけるよう10リットル公共ごみ袋を作成し、地域清掃などのボランティア活動に利用していただいています。

次に、施策2の4、不法焼却・不法投棄の防止対策は、令和4年度に市内廃棄物処理業者と不法投棄等の情報提供に関する協定を締結しています。

説明は以上です。

○浅川会長

ただいまご説明いただきましたが、意見などがあればお願いいたします。

○吉田委員

きれいなまちづくりの推進について1点確認します。環境教育の推進で、小学生を対象に出前授業

を行っているということですが、私から見ると、小学生が一番きちんとできています。高校生、大学生のポイ捨てなどをどうしていくのかがこれからの課題と私は考えていて、委員応募の作文でもそのことを書きました。高校生、大学生が小学生の時の気持ちを忘れないようにするにはどうすればよいのか。これを解決することがごみの減量化につながると私は考えていますので、検討をお願いしたいと思います。

○堂前環境室長

小学生対象の出前授業については、小さな年代のうちからごみ減量について学んでいただくことで、中学生、高校生となった後もごみ減量の意識を持ち続けていただきたいと考え、小学生を対象としてきました。

年齢が上がってくるにつれて、ポイ捨てなどをしている姿が目立つところはあるかもしれませんが、高校生、大学生への働きかけについて、どのように行うのが有効かということをご検討してまいります。

○浅川会長

そのほか何かございますか。

基本方針2に関連して、外国人向け分別啓発のことで、ファルーク委員何かご意見ございませんか。

○ファルーク委員

ウルドゥー語のカレンダーができたことで、前よりごみ出しについてわかりやすくなったと周りの人から聞きますので、以前より安心感があると思います。

○浅川会長

ほかにご覧いただけますでしょうか。

ほかになければ、次に基本方針3から5ページまでご説明をお願いいたします。

○中村廃棄物対策課主幹

それでは資料1の3ページをご覧ください。

資料の中段、基本方針3の安心で安定的なごみ処理の推進についてですが、ご覧の表は施策と主な取り組みの一覧で、下段の詳細を申し上げますと、施策3の2、ごみ処理手数料減免方法の検討は、令和6年10月から紙おむつの無料収集を開始しています。

次に、施策3の3、環境クリーンセンターの延命化等の実施は、令和4年度から今年度まで基幹的設備改良工事を実施しています。

4ページをご覧ください。

次期最終処分場整備事業開始として、現最終処分場が令和10年度で埋立終了予定のため、令和5年度から現処分場の隣接地に次期最終処分場を整備する作業を進めています。

次に、施策3の4、ごみ処理施設の安心・安全な運営は、環境クリーンセンターの長期包括的運営管理委託事業が令和4年3月で終了したことに伴い、新たに令和4年4月から令和19年3月までの15年間の委託事業を開始しています。

次に、施策3の5、非常時における廃棄物対策は、令和3年度に市内廃棄物処理業者と災害時の処理に関する協定を締結し、令和6年度には、大規模災害のほか、平時の火災に伴い発生する災害ごみについて、建物の解体も含め一体となって収集運搬する許可を市内3事業者に付与しています。

次に、資料中段、基本方針4、経済的・効率的なごみ処理の推進についてですが、ご覧の表は施策と主な取り組みの一覧です。

5ページをご覧ください。

施策4の1、適正で効率的なごみ収集運搬体制の検討は、令和6年10月に「燃やせないごみ」の

収集曜日を「資源物・危険ごみ」と同じ収集曜日に変更し、「燃やせないごみ」の収集月2回のうち1回をペットボトル専用の収集に変更しています。また、古布及び小型家電については、集団資源回収や民間事業者による拠点回収での回収を踏まえ、市公共施設6か所の拠点回収を終了しています。

次に、施策4-2、適正なごみ処理手数料の検討は、令和6年10月に、今後のごみ処理を安定的に行うため、指定ごみ袋の金額を1リットル当たり2円から3円に改定し、ごみ処理券は80円から100円に、160円から200円に改定しています。

次に、施策4-3、安全な環境クリーンセンター直接搬入方法の検討は、令和3年4月から環境クリーンセンターにおける労働環境の改善を図るため、日曜日の搬入を廃止しています。

次に、その他の取組として、令和6年11月に「江別市と北海道コカ・コーラボトリング株式会社とのまちづくりに関する包括連携協定」に基づき、「ペットボトルの資源循環型リサイクル及びごみ減量に関する細目協定」を締結し、今年4月から使用済みペットボトルの水平リサイクルを開始しています。

説明は以上です。

○浅川会長

基本方針3、安心して安定的なごみ処理の推進と、基本方針4、経済的・効率的なごみ処理の推進についてご説明いただきました。この2つのどちらでも構いませんので、ご意見ございましたらお願いいたします。

環境クリーンセンターの延命化工事の内容について、ご説明いただいてもよろしいでしょうか。

○石川施設管理課長

施設管理課の石川です。

環境クリーンセンターの延命化工事の概要ではありますが、基幹的設備改良事業ということで、主要な設備や機器の更新を行い、老朽化した施設の性能を回復するものです。

また、工事に伴いまして、効率のよい設備とすることにより、電気や燃料などの使用量を減らし、省エネルギー化を図り、二酸化炭素の排出量を抑えることも目的に実施しています。

令和4年度から令和7年度まで4年間の事業であり、今年度令和8年3月をめどに完成する見込みです。説明は以上です。

○浅川会長

簡単に言うと、部品の交換をして、既存の設備の持ちを良くしたということ、それを一度には交換できないので、ある程度期間をとってやってきたということですね。

水平リサイクルについてもご説明をお願いいたします。

○佐々木減量推進係長

廃棄物対策課の佐々木です。

江別市で収集したペットボトルについて、これまでは、繊維製品や食品トレイなどにもリサイクルされていました。

近年、使用済みペットボトルを再びペットボトルとして流通させる水平リサイクルという取り組みが、ペットボトルを一から作るよりも二酸化炭素の発生量が少ないとして、注目されています。

江別市においては、説明にあったとおり、昨年11月に「江別市と北海道コカ・コーラボトリング株式会社とのまちづくりに関する包括連携協定」を結び、その中で「ペットボトルの資源循環型リサイクル及びごみ減量に関する細目協定」を締結して、今年4月から使用済みペットボトルの水平リサイクルを開始したところであります。

説明は以上です。

○浅川会長

ありがとうございます。ほかになにかありますでしょうか。

では、次に6ページ、7ページの目標値の達成状況についてご説明をお願いいたします。

○中村廃棄物対策課主幹

それでは、資料6ページをご覧ください。

2の目標値の達成状況についてであります。 (1) 発生抑制の目標値達成状況では、1人1日当たりにおけるごみ総排出量の中間目標値870gに対し、令和6年度の実績値は、822gと、48g下回っており、目標を達成している状況です。内訳では、家庭系廃棄ごみの中間目標値470gに対し実績値は474gと、4g上回りましたが、集団資源回収等の中間目標値180gに対し実績値は119gと、61g下回ったことに伴い、家庭系ごみの排出量の中間目標値650gを57g下回っております。一方、事業系ごみの年間排出量は、中間目標値9,500tに対し、実績値は、9,896tと、396t上回っている状況です。

資料7ページをご覧ください。

(2) 資源化の目標値達成状況では、資源化の中間目標値26%に対し、令和6年度の実績では、集団資源物等の減少の影響により、資源化率は19.9%と、中間目標値を6.1ポイント下回っており、目標値の達成は難しい状況です。

次に、(3)の最終処分目標値達成状況では、最終処分の中間目標値である累計最終処分量15,000tに対し、令和6年度の実績は、令和3年度からの累計最終処分量が14,680tと、中間目標値を320t下回っているため、現状では、目標値の達成は可能な状況です。

なお、詳細なごみの量や資源化率、最終処分量の数値は、目標ごとに、表に記載していますので、ご参照願います。

説明は以上です。

○浅川会長

ありがとうございます。

それでは、この目標値の達成状況について、何かご質問ご意見ありますでしょうか。

基本方針の1で、2Rを優先した3Rの推進が示されていますが、この2Rは、リデュースとリユースで、リサイクルは付加的なものとして位置付けられています。その2つのRの中でも、最終的な目的はリデュース、つまり、ごみの総排出量自体を減らすことで、その手段としてリユースとリサイクルがあるということだと思います。

目標値を見ると、ごみの発生抑制は順調に進んでいますし、最終処分場での累計処理量も、中間段階では、最終目標は余裕を持って達成できそうな見通しです。

諮問にありましたように、(2)資源化の目標達成状況が未達成になっていますが、一番の目標である発生抑制や、累計最終処分量は順調に進んでいますので、そこをきちんと評価できるような目標の設定を考えていかなければいけないと思います。この点も含めて今後ご議論いただくことになろうかと思います。

ほかになにかご質問ご意見ございませんか。

ほかになければ、以上で本日の議事を終了いたします。

続きまして、「その他」として事務局より何かありますか。

○堂前環境室長

次回の審議会についてですが、9月1日(月)14時から予定しております。詳細につきましては、後日あらためてご案内いたしますので、よろしく願います。

また、あらかじめ欠席の方は、本日も構いません、早めに事務局までご連絡をお願いいたします。

○浅川会長

委員の皆さんから最後に何かありますでしょうか。

それでは事務局にお返しいたします。

○堂前環境室長

本日はご多用な中、ご出席いただき、ありがとうございました。

以上をもちまして、第2回江別市廃棄物減量等推進審議会を閉会いたします。

【閉会】